

<Vol. 110 の記事>

メッセージ 新年度 よろしくお祈いします！

連載 フレイバック20年① 「浦スポ塾」の歩み

20 年目がスタート

● 新会員の皆様 ようこそ！！

浦和スポーツクラブにようこそ！

「おいおい！ 普通なら“ありがとうございます”じゃないのか？」と思われた方もいらっしゃるかと思います。

言い間違えではありません。「ようこそ！」そして「これから、よろしく！一緒に楽しんでいきましょう！」。

浦和スポーツクラブは、自分たちが楽しみながらスポーツを続けたいと考えた仲間が、自分たちだけではなく、みんなにもスポーツを楽しんでほしい、一緒に楽しく続けたい・・・と考えて、つくってきたクラブです。

なので、新しく参加される方がいると、「仲間が増えた！」ことになるのです。お客さんが増えた・・・というわけではありません。だから「ようこそ！これからよろしくお願いします！」なのです。

● 非営利組織の意味

NPO＝非営利活動法について、まだ多くの方に理解されているわけではありません。

中には、浦スポは会費をとっているから“営利団体”ではないか？と言われる方がいます、

でも、たとえば、少年団も会費って集めていますよね・・・それと同じようなものと考えてください。

その中から、指導者には謝金を支払います。そして、規模が大きくなったこともあり、すべての運営を会員がボランティアで進めていくのは無理になってきたので、職員も雇用するようになりました。

しかし、クラブの方針を考え、決定していくのは会員です。実際に千数百人の会員全員で決めるのは難しいので、理事を選び理事会で決めたり、部門ごとに有志も加わった運営会議を開催して、話し合ったりしています。

会員が、自分たちのために行っていることですので、理事や運営会議のメンバーは、無報酬です。（みなさんと同じように会費を支払っているメンバーです）

赤字になって活動ができなくならないように年度ごとに予算を考えます。車や事務所など、一定年度ごとに大きな費用がかかるものがありますので、そのために少しずつお金をた

めておくことも必要です。

しかし、お金が残ったからといって、これを配分したり、飲み食いに使ったりはできません。残ったお金は利益ではなく、会員の皆さんの大切な積立のようなものだからです。

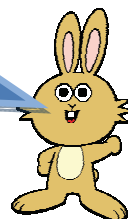
そこがいわゆる一般の企業＝営利組織と異なるところです。

お知らせで～す！

クラブの20周年記念事業を

10月3日（日）に予定しています。

みなさん、ぜひ日程をあけておいてくださ～い！



報告 ～親子キャッチボールイベントⅡ～

『真下投げをやってみよう！！』

3月13日（土）、埼玉県障害者交流センターのグラウンドで伊藤博一先生に「真下投げ」を教わりました。

約80名の参加者が、真下投げに挑戦！

野球の指導者にも大好評でした。



速報！！

星空サッカーの2年生が pal カップで優勝！！

3月27日、道祖土のフットサル場 FOOT-pal で開催された大会で、星空サッカーにいつも参加されている2年生たちがチーム「星空ストライカーズ」を組んで参戦！ みごと優勝されたそうです！！

おめでとございます！！

星空では何も教えられないけれど、お兄ちゃんや、お父さん、オジサン達と一緒にやっているのが、少しは役に立ったかな？（＾＾）

これからも、土曜日にたくさん遊ぼう！

<http://www.footpal.jp/> の「大会結果」で紹介されています！

プレイバック浦スポ⑦ 浦スポ塾

プレイバック浦スポ7回目は、先日16回目を終えた、「浦スポ塾」について振り返ります。

●浦スポ塾の主旨

クラブには、スポーツ分野の研究者やドクターも参加しています。そういった方々の知識や人脈をいかし、会員や地域の方々に、スポーツに関する正しい知識や新しい技術をしていただこうという主旨で2004年度から始めました。年3～4回を目標に、これまで16回開催してきました。

●第1回～16回

【第1回】2004. 8. 7 北浦和カルタスホール

テーマ：「**スポーツにおける暑さ対策**」

講師：戸辺晴彦氏（東京大学・平成国際大学 名誉教授）

暑さから身を守るとともに、暑い中で良いパフォーマンスを発揮するためのポイントについて紹介



【第2回】2004. 11. 27 浦和高校同窓会館

テーマ：「**サッカー選手の受傷から復帰まで**」

講師：野崎信行氏（浦和REDSトレーナー）

REDS選手のリハビリ映像を用いながら、怪我から復帰までのトレーニングにおける留意事項等を説明

【第3回】2005. 2. 13 浦和高校同窓会館

テーマ：「**選手のための栄養学**」

講師：菅 泰夫氏（株式会社ニューレックス）

2002トルシェJAPANの栄養アドバイザーを担当した菅氏が、スタミナ、体づくりのための栄養摂取ポイントを紹介。

【第4回】2005. 6. 19 北浦和カルタスホール

テーマ：「**サッカーにおきがちな怪我とその対応**」

講師：仁賀 定雄氏（浦和REDS ドクター）

成長期のスポーツ障害、怪我の初期治療について、レントゲンや内視鏡の映像を交えながら説明。

【第5回】2006. 4. 29 浦和高校同窓会館

テーマ：「**救急救命講習**」

講師：木崎消防署 救命隊の皆様

怪我の応急措置、AEDを用いた救命演習などを教わりました。



【第6回】2007. 12. 22 浦和高校同窓会館

テーマ：「**発育期の子ども達のスポーツと栄養**」

講師：稲山貴代氏（首都大学東京准教授）

コンビニエンスでもできるバランス良い食事の取り方など、実践的なアドバイス。

【第7回】2008. 1. 26 浦和高校同窓会館

テーマ：「**スポーツ指導におけるリスクマネジメント**」

講師：谷塚 哲氏（スポーツ法務事務所）

怪我や事故、ハラスメントなどの諸問題について、防止方法や対応策、クラブや指導者の準備などを伝授。

【第8回】2008. 3. 1 浦和高校同窓会館

テーマ：「**スポーツ現場における応急対応**」

講師：塩野 潔氏（スポーツドクター）

怪我・急病時の対応と、クラブで配置を決定したAEDの利用方法について実習。

【第9回】2008. 3. 1 浦和高校同窓会館

テーマ：「**介護予防を地域の力で**」

講師：御園慎一郎（総務省大臣官房審議官）

実技指導：菊入彩子（健康運動指導士）

介護予防にむけた地域の取り組みの必要性について説明。その後、健康体操の実技指導。

【第10回】2008. 6. 21 浦和高校同窓会館

テーマ：「**スポーツにおける暑さ対策**」

講師：戸辺晴彦氏（東京大学・平成国際大学 名誉教授）
（第1回からバージョンアップ!）

【特別編】2009. 1. 23 浦和コミュニティセンター

テーマ：「**芝生から始まる体づくり**」

講師：ニール・スミス氏（グリーンスポーツ鳥取）

さいたま市地域スポーツクラブフェアと共催。子ども達のがのびのびと走り回れる芝生の環境の重要性について解説。

【第11回】2009. 2. 7 浦和高校同窓会館

テーマ：「**スポーツにおけるモチベーションの高め方**」

講師：福永泰氏（元浦和REDS）

浦スポ特別コーチでもある福永氏から、子ども達にやる気をもたせる方法など経験談を披露。

【第12回】2009. 2. 22 浦和高校同窓会館

テーマ：「**子どもの発育期におけるスポーツ障害**」

講師：戸辺晴彦氏（東京大学・平成国際大学 名誉教授）

テーピング講習指導：細淵祐氏（細淵接骨院院長）

成長期の体の特性を理解した指導の必要性について詳述！その後、故障予防及び故障時のテーピングの実演指導。

【第13回】2009. 8. 2 浦和高校同窓会館

テーマ：「**落雷対策を中心とした緊急対応**」

講師：塩野潔氏（スポーツドクター）

スポーツ現場における雷への対応、落雷事故発生時の措置などを紹介

【第14回】2009. 10. 10 浦和高校同窓会館

テーマ：「**総合型地域スポーツクラブについて**」

講師：東方美奈子氏（県体協クラブ育成アドバイザー）

総合型地域スポーツクラブの国内の現状と、スポーツ政策における位置づけ等について紹介。

【第15回】2009. 12. 10 カルタスホール

テーマ：「**成長期のスポーツ障害—早期発見・早期治療—**」

講師：加藤晴康氏（立教大学准教授）

日本サッカー協会医事委員の加藤氏から、子ども達の障害防止のために指導で配慮すべき点などについての助言。

【第16回】2010. 2. 20 浦和高校同窓会館

テーマ：「**スポーツ指導の12章**」

講師：松本光弘氏（平成国際大学教授）

発育期のスポーツ指導のあり方として「教えすぎないこと」「自由な発想、考える力を大事にすること」などの助言。

●これから・・・

今年度は、駒場体育館での開催なども検討しています。一人でも多くの方に、参加していただき、より多くの方が、楽しく・長くスポーツを続けていけるようになってほしいと願っています。



2009年度も、浦和スポーツクラブでは、総合型地域スポーツクラブ活動助成を受けて活動しています。